

グロブ

カップリング技術のためのジャーナル

注目：
ハーパー・メッセ2019

WORLD OF
COUPLING



ヨルグ・スタング販売部長

お話しをしよう

読者の皆様へ

2019年はR+Wにとってコミュニケーションの年です。多様なイベントで、皆様と話をしたり、たくさんの人に会う機会がありました。私たちは、短い時間に、これほど多くのイベントや展示会に参加することはめったにありません。この機会に多くの皆さまとの関係を築くことができました。また本誌には、最近のイベントに関する情報と、この「多忙な」時期に私たちがお客様に息抜きをしてもらう方法を共有したいと思います。

新しい本部の建設、目に見える成長の指標を掲げて、R+Wにとって今年は拡張の年です。今年年末に引越したら、弊社の管理部と生産部は、今の限られたスペースから脱出し、翼を広げることができます。本誌では、ヴェルトに新しい拠点を設置するための起工式の計画についてご説明します。もうじき「旧日本部」になるクリンゲンベルクの建物と新しい本部はほんのわずかな距離です。

事業拡張は私たちの組織にも影響を及ぼしています。弊社の経営陣を調整し、適任者2名が取締役会役員に選任されました。この調整により、当社は将来の課題に対応できる有利な立場に立つことができ、お客様の要件を満たすことができることにワクワクしています。今年は私たちは皆様と会う機会がたくさんあります。お会いできるのを楽しみにしております。

それでは、本誌をお楽しみください。

A handwritten signature in black ink, appearing to read 'Jörg Stang'.

ヨルグ・スタング

目次&論説

2-3

製品&進化

4-7

ハローバーマッテ2019

製品&進化

8-9

レーシングサーキット用カップリング

R+Wニュース

10-12

金属の明るい世界

/オートメーションの全て2019

/MLPサーボモーター専用のカップリング

R+Wニュース

13

生産部と管理部のためのスペースが増加



R+Wはリフレッシュ場所と十分な交流スペースを提供します。

ようこそ、 R+Wラウンジへ

ハノーバーメッセではロボットや機械が動き回ったり、マイクのを借りて、専門家が様々なブースでプレゼンを行い、にぎやかな会話があちこちで繰り広げられます。ホール25のR+Wパワートレイン、ドライブトレイン技術ブースはこのにぎやかな環境の中、まるで落ち着いたオアシスのようでした。

ブースのコンセプトには、厳選された展示製品と十分な交流スペースが盛り込まれています。「R+Wラウンジへようこそ」というのが皆様にお伝えしたいメッセージで、非常に気の利いたバーテンダーがストレスを感じているお客様のために、美味しい飲み物を用意しました。



私たちはハノーバーメッセでカップリングなしで出展したわけではなく、手を動かし頭を回すためのビジュアルエイドを用意しました。販売部長ヨルグ・スタングはバーチャル製品ツアーを選びました。「私たちは全ての製品を持ってきました。お客様は2つの大型タッチパネルでR+Wの製品を全て検索でき、様々なカップリングが当アプリのように、画像、データ、分解図と共に表示されています。展示会のみから得られる情報は限られています。」しかしながら、重点がコミュニケーションと個人的な交流にあることは非常に明確でした。「ブースのレイアウトからわかるはずですが、お客様と話し合い、個人的な交流に時間と空間を意識的に割きたいと思えます。」と副社長のフランク・クロンミュラーは展示会のモットーについてを説明しました。

ペーパーレス

ブースのスタッフは全員タブレットを持ち、このブースでは紙をほとんど使用していません。少量のパンフレットと、もちろん当社のお客様向け雑誌ドライブ、最新のいくつかの号を除き、全ての情報はデジタル形式で表示されます。最近開催された展示会と同様に、スタッフはタブレットにインストールされているアプリと専用の3Dメガネを持っており、お客様に新しいカップリングの体験を提供します。「この展示形式は、お客様から非常に好評だったため、私たちはこの形式を維持しています。」とヨルグ・スタングが言います。更に、「弊社のアプリが継続的に強化され、新MLPサーボ板ばね形カップリングのデータはすでにアップデートされました。」と彼は付け加えました。

新MLPサーボ板ばね形カップリングはブースにも展示されている数少ない製品の1つでした。MLPサーボ板ばね形カップリングは低トルク用に設計された軽量アルミニウムクランプハブ付き、ゼロバックラッシの板ばね形カップリングです。

新しい本社にこのタッチパネルを導入します。





R+Wのブースはハノーバーメッセで広くて気楽な空間を提供しています。

R+W最新のMLPシリーズは正確な位置決め精度を必要とし、更に頻繁な停止・起動または逆転を含む、動きが激しい駆動装置に適しています。アルミニウム製ハブにより軽量で低慣性モーメントです。板ばね自体は高強度ステンレスチール製、より高い出力密度が得られます。

高強度のねじは板ばねを固定するために使われており、摩擦力のみで板ばね全体にゼロバックラッシュでトルクを伝達します。板ばねの接続部に微小な振動の発生がないため、より高いねじり剛性が維持できます。軸とハブの締結はクランプ、半割クランプまたはテーパロックの選択が可能です。

充電スポット、スナックとバイエルンランチ

ハノーバーメッセではカップリングを展示するだけでなく、お客様が携帯電話やタブレットの充電スポットを利用することも歓迎されます。水曜日の午後は、R+Wがお客様に軽い食事を招待しました。「ゲストを歓迎するため、私たちは本格的なバイエルンランチの軽食を用意しました。」とフランク・クロンミュラーは強調しました。本展示会の招待状は事前に発送されています。「R+Wラウンジでバイエルンランチを召し上がりましょう」は今回のモットーであり、ボリューム満点のヴァイスヴルストやバターを塗ったプレッツェルとビールをご用意しました。ニーダーザクセンバイエルン料理の味わいと弊社のデジタルは少し対照的でした。

「展示会では人に焦点を当て、テクノロジーは助けや道具になる。」はR+Wがとった姿勢です。人の話とえば、「本物の」カイ・カップリングはハノーバーメッセでバーチャル・カップリングを宣伝しました。落ち着いたモダンな展示会はお客様にとっても好評でした。「バイエルンの堂々とした優雅さと技術的な改良の組み合わせ、流行のバーチャルリアリティーを備えた上品な白と黒のモダンなブース、また、ゲストを迎えて丁寧な対応してくれる心温かいスタッフは素晴らしい！」というのが長年のお得意様からのコメントです。

展示会に参加することができなかった方は、後日その技術を体験することができます。2つの大型タッチパネルはいつでも移動され、引き続きサービスを提供いたします。タッチパネルは年末に新しい本社のロビーと研修室に配置する予定です。もちろん、R+WアプリはApp StoreとGoogle Play Storeからいつでも入手することができます。



本物のカイ・カップリングです！



ヨルグ・スタングはバーチャル・プレゼンテーションを実演します。



バーテンダーは美味しいカクテルを用意します。



レーシングサーキット用 カップリング



レーストレーラーはガレージ、ワークショップ、ミーティングエリア、コマンドセンタなど幅広い機能を備えており、レース中のドライバーやエンジニアにとっては必要不可欠の存在となっています。これらの拡張可能な多機能車両はハイテクの機材を運ぶだけではなく、車両が本質的にハイテクです。R+Wのカップリングはその2つの階を接続します。

レーストレーラーは、高価なレーシングカーに安全な輸送サービスを用意するだけではありません。レーシングカーやオートバイのためのスペースを用意し、通常は車両修理工場も備えています。また、多くのメーカーは拡張可能カーゴや収納場所を多機能的に利用することを選択します。例えば、ミーティングエリアまたは部屋一室を追加できます。あるメーカーは横方向に拡張された場合に2階へのアクセスができるように、コントロールタワーに適しているカップリングを探していました。自動化されたゲストルームの長さは約5メートルです。重量は約1,000キロ、迅速に拡張および格納できる必要があります。

レーシングトレーラーの組み立て部品はあらかじめ慎重に選定されています。駆動側と被動側のトルク伝達、軸のミスアライメントを許容するため、R+Wは標準的な機械工学用のカップリングを提案しました。ハンドリング装置、搬送システム、包装機械、スクリュ・ジャッキなど用の経験に基づいて、MEL6エラストマ形カップリングが選定されました。ハブは標準で一体型のテーパークラмпリングが取り付けられているため、非常に高い同心度と軸、ハブの間の高いクラмп力を保証できます。



このレーストレーラーには全てが入ります。

用途 — 特別仕様と選定

費用対効果に加えて、8ページで説明した用途は、お客様が指定した動作性能、伝達特性および使用可能寿命の他の3つの優先基準も含まれています。エラストマ形カップリングの主な動作性能基準には、同心度、クランプハブ仕上げおよびシヨア硬度の選択肢が含まれています。ハブが真円でないと、同心度が低くなるだけでなく、装置内で回転軸の軸方向のせん断応力も強まります。精密に製造されていないハブと軸を組み合わせると、より大きなミスアライメントが発生し、駆動系全体に悪影響を及ぼします。発生したせん断応力は駆動側または被動側ベアリングの荷重を増加させ、ベアリングの寿命に影響を与える可能性があります。

振動減衰性またはねじり剛性

駆動被動伝達特性に関して、トルク伝達および振動減衰エンドブレイと偏角の許容は注目点に留まり続けます。カップリングはせん断応力を可能な限り低く維持しながら、偏心、偏角、エンドブレイのミスアライメントを許容します。装置の要件を満たすため、R+Wの製品は様々なエラストマインサートの硬さから選定できます。

高張力アルミ合金またはステンレススチール製の中空軸がクランプによって高い同心度を保ち強固に一体化され、装置の長さに合わせて軸端距離を変えて使用できます。中空軸の長さは適合する取り付けスペースに直接合わせられるため、取り付け後稼働時の長さを調節可能です。MELZVを使用することで部品の取り付け工程を簡素化し、取り付け時間を節約できます。

金属の明るい世界

金属の専門家が4年に1度デュセルドルフに集結、

私たちも行く予定です！

「2019年はR+Wにとって様々な展示会に出展する多忙な1年です。」と副社長のフランク・クロンミュラーは言いました。その1つのハイライトは2019年6月25日から29日までデュセルドルフで4年に1度開催される国際金属製造・冶金技術機械展です。

「出展対象製品は機械、プラント機器、鉄鋼製品、省エネルギーの環境および資源保護、環境資源節約または省エネルギーの分野です。」この展示会は国際鋳造技術・機械展+WFO技術フォーラム (GIFA)、国際金属製造・冶金技術機械展・会議 (METEC)、国際工業炉・熱応用技術展 (THERMPROCESS) と国際精密鋳造品展 (NEWCAST) の4つの展示会の一部にすぎず、それぞれの展示会がそれぞれの産業と市場を代表しています。4つの展示会を組み合わせると、「金属の明るい世界」の全体像を描くことができます。



副社長のフランク・クロンミュラーが「第10回のMETECは、プラントメーカーが多数派を占めており、特にR+Wに関心が寄せられています。結局のところ、当社のカップリングは圧延工場や製鉄所などの幅広い金属加工産業用途に使われています」と出展目的として申しました。デュセルドルフの展示会には、鋳鉄、鉄鋼、非鉄金属、鋳鋼とモデリング、圧延工場と製鉄所向けのプラント機械製造業社が参加しています。「ここでは、既存のお客様にも、新規のお客様にも、たくさんお会いできました。」とフランク・クロンミュラーがコメントしました。



R+Wは展示会ホール5、ブース5G12でお待ちしております。予約する場合は+49 9372-9864-0まで電話または下記のURLからお問い合わせください。
(www.rwkupplungen.de/messen/metec/).

オートメーションの 全て2019

ドイツ国内との交流

展示会の規模は小さいけれど完全に構成されている。2018年に開催された3つの地域限定の「オートメーションの全て」に参加した後、今ではR+Wの恒例イベントとして定着しています。今年は全国を網羅するため、4つの展示会にも全て出展しました。1月にはハンブルクにて、続いて3月にはボーデン湖で開催された展示会出展しました。次回6月のルール地方と9月のライブツィヒで開催される展示会をお楽しみください。

これらの展示会の重点は産業オートメーション技術に関連する製品や部品に当てられています。展示会に参加する目的は、日常の実際的な問題を抱えているお客様と製品開発者やエンジニアと綿密な会話ができることで、そのコンセプトはR+Wの視点と完全に一致しています。弊社の営業担当者が各展示会のR+Wブースを訪問されるお客様と会話したくさんの質問に回答します。本展示会のハイライトは新製品MLPシリーズのサーボ板ばね形カップリングです。



サーボドライブ用カップリングは幅広い産業の用途に採用されており、本展示会の目玉となっています。新製品の詳細については5,6,13ページをご覧ください。



他の日程：

all about automation

aaaエッセン
2019年6月5～6日
メッセエッセン
R+Wブース631

aaaライブツィヒ
2019年9月11～12日
グローバ展示会センター

MLPサーボモーター専用のカップリング

R+Wがサーボドライブ用軽量アルミニウム製ハブ、ゼロバックラッシの板ばね形カップリングを開発しました。

サーボ板ばね形カップリングは正確な位置決め精度を必要とし、更に頻繁な停止・起動または逆転を含む、動きが激しい駆動装置に適し、アルミニウム製ハブにより軽量で低慣性モーメントです。高弾性ステンレススチール製板ばねにより高い出力密度が得られます。高強度のねじは板ばねを固定するために使われており、摩擦力のみで板ばねから全体にゼロバックラッシでトルクを伝達します。板ばねの接続部には微小な振動の発生がないため、より高いねじり剛性が維持できます。軸とハブの締結はクランプ、半割クランプまたはテーパーロックの選択が可能です。



クランプMLP2



テーパーロックMLP3



カイ・カップリング

新製品サーボ板ばね形カップリングの性能

サーボドライブ用カップリングは偏心、偏角、エンドブレイが許容可能です。素材は高温にも耐えることができ、非常に扱いやすいものです。詳しく情報はカイカップリングの新着動画をご覧ください！





生産部と管理部のためのスペースが増加

2019年2月12日、ヴェルト・アム・マインで新しい本社の正式な起工式が行われました。

新しいR+W本社は新しい「ヴェイデン・ヘッケン」産業地区内の7,000平方メートルの土地に建設されており、約2,500平方メートルは生産部用、1,000平方メートルは管理部用です。取締役社長ステファン・ハーターは新しい本社に満足しています。「建物は計画通り、当社の要望に完全に適合しており、その規模は当社の事業を成長させるための理想的な条件を満たすことができます。」これにより、短い時間で生産能力を大幅に増やすことができます。ここ数年の急速な成長により新しい本社の建設は必要不可欠なものとなっています。」とステファン・ハーターは説明します。

その日は、地元行政、そしてもちろん親会社のスタッフや代表者が起工式に出席しました。取締役社長ステファン・ハーターはPoppe + Potthoffグループの株主であるキャロライン・ラジェマンと共にゲストを歓迎し、皆様にヴァイスヴルスト（ドイツ・バイエルン州の伝統的なソーセージ）朝食に招待しました。起工式に出席したのは、ミルテンベルク地区最高責任者のイェンス・マルコ・シェルフ、ヴェルト・アム・マイン市長アンドレアス・ファト、クリンゲンベルク・アム・マイン市長ラルフ・ライヒヴァイン、アシャッフエンブルク商工会議所の最高責任者アンドレアス・フロイント、dievernicharchitekturの常務ウルフギャング・デイエヴァーニツヒ、ゼネラル・コントラクターゴールドベック株式会社のアンドレアス・ライスターとトーマス・ウィンド、メインエコーのアニヤ・ケイルパツハおよびR+Wの役員マクシミリアン・クレスマンとホルガー・フォクトです。

今後の投資計画

新しい本社の場所選択は、ヴェストファーレン州ヴェールターに拠点を置く親会社のPoppe + Potthoffとの緊密な協議の中で行われました。総額800万ユーロを越える投資は、R+Wの従業員と事務所に対する親会社の明確なコミットメントです。

機械工学関連産業は活況を呈しており、R+Wも同様に更なる成長を目指しています。これは新しい生産部と管理部のスペースへの投資と、ドイツ当社と海外支社の規模を拡張を意味します。また、製品開発への投資も強化されます。

新しい本社への移転は今年の夏の終わりに行われる予定です。R+Wは戦略目標を実行する上で市場の高まる需要に対応できるようになります。そのため、R+Wは今後も重工業と精密カップリングの主要メーカーの1つであり続け、バイエルン州のローワーメインを拠点とし続けます。



左からトーマス・ウィンド、アンドレアス・ファト、イェンス・マルコ・シェルフ、アンドレアス・ライスター、ステファン・ハーター、キャロライン・ラジェマン、マクシミリアン・クレスマン、ホルガー・フォクトとウルフギャング・デイエヴァーニツヒ

Stay informed and sign up
for our email info service:

<https://www.rw-couplings.com/newsletter-subscription/>

Or follow us on Facebook:

 R+W Antriebselemente GmbH